キャラクター名
盧 珠媛(ルゥ シューユェン)

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス バロール	ワークス	UGN支部長D	カヴァー	中華料理店オーナー
オプショナル		年齢	???	性別	女
覚醒	渇望	衝動	飢餓	初期侵食率	47 %
出自	権力者の血統	経験	心の壁	邂逅	借り

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	2	0	0			2
精神	4	0	0			4
社会	1	1	0			2

HP	26
行動値	8
(非装備時)	8
戦闘移動	13
全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ			交渉	1	
回避			知覚			意志	1		調達	6	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
クリスタルシールド		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
『輪廻の獣』	P	N		
輪廻の獣	P 有為	N 脅威		
霧谷雄吾	P 誠意	N 不信感		
ガラクタ	P 好奇心	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 16	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
孤独の魔眼	1	4	オート	視界	効果参照	自動	-	
効果：範囲、範囲(選択)攻撃を自身一人に変更。								
喰らいつくす霧	3	9	オート	視界	範囲(選択)	自動	120	
効果：[Lv+3]Dダメージカット。1R1回。自身のあらゆる判定ダイス-3								
時の棺	1							
効果：								
レネゲイドイーター	3							
効果：								
グラビティガード	3							
効果：								
雲散霧消	5							
効果：								
限界突破	1							
効果：								
ハイブリーディング	1							
効果：								
禁じられし業	★	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果：簡単なレネゲイド作用を打ち消す								
ディメンジョンゲート	★	3	メジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果：空間を捻じ曲げてゲートを作る								
効果：								
効果：								
効果：								

【プロフィール】

横浜市中区、横浜中華街に存在する、大きな楼閣を模した中華料理店『紅妃楼』。政府高官や富豪、有名人のみが訪れる超高級店で、その予約は何年も先まで埋まっており料理を口にすることができるのは極一部の人間のみである――というのはカバーストーリーで、その実態は中区を管轄するUGN支部。
盧珠媛はその横浜市中区支部の支部長であり、『紅妃楼』のオーナーである。支部長とは言っても本来彼女が担当するべき事務は全て部下に一任しており、彼女自身は基本的に惰食と惰眠を貪るだけの存在である。

そんな彼女がそれでも支部長としての役職についていられるのは輪廻の獣であるが故の圧倒的なレネゲイド行使能力ゆえ、そして横浜市中区支部が不確定で不安定な存在である輪廻の獣の監視施設も兼任しているからである。

彼女に宿る輪廻の獣は飢餓の衝動を抱えており、それを抑えるために常に食欲的な面でもレネゲイド的な面でも満たされていなければいけない。そのため、現在の横浜市中区支部は彼女の飢餓の衝動を抑えるため…もとい、彼女の食欲を満たすためにひたすらに彼女に料理を提供する彼女の城となっている。

その出生や来歴について知っている人間は全くと言っていいほど存在せず、彼女自身も進んで語ろうとはしない。彼女はある日UGNに唐突に現れ、自らを輪廻の獣であると公言し、進んでUGNの監視下に身を置くことを望み現在の支部長としての立ち位置を確立している。その当初から彼女を知っている人物曰く、彼女はどう見ても幼い少女であるが、その姿は数年前から一切変わっていないとのことであり、彼女の年齢すらも不明となっている。

【パーソナリティ】

艶やかな2つに束ねた赤髪と、同じく爛々と輝く赤目が特徴の少女。誰に対しても尊大で、『我』という一人称も相まってかなりの王様気質。